

乳癌(進行・再発)

1st・2nd Line

PTX weekly+Bevacizumab療法

()コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

アルコールアレルギー ※
必ず無しを確認

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール : 1コース 28日

使用基準 : 開始時 ; class B、2回目以降 ; class C

- ※ 脳転移を有する患者には慎重投与
- ※ 治療前心エコー検査、高血圧の患者は慎重投与
- ※ ベバシズマブ添付文書及び適性使用ガイドに準じて投与すること。
- ※ ショック、アナフィラキシー様症状、Infusion reaction発現に要注意。

《 使用薬剤 》

パクリタキセル (PTX) : パクリタキセル (1V : 30mg/5mL, 100mg/16.7mL)

ベバシズマブ (BEV) : ベバシズマブ (100mg/4mL, 400mg/16mL)

投与量 :

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
パクリタキセル	90 mg/m ²	#VALUE!		1, 8, 15
ベバシズマブ	10 mg/kg	#VALUE!		1, 15

<< タイムスケジュール : 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day1	1月1日 (金)	内服 レスタミンコーワ (10mg) 5 T 点滴直前に内服		
	0時00分	① 生理食塩液 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg ※デキサート初回は6.6mg、2回目以降は3.3mg (1.65mg×2A) 可、半量ずつ1.65mg×0.5Aまで減量可 15分かけて点滴静注		
	0時15分	② 生理食塩液 100mL 30分かけて点滴静注		
	0時45分	③ 生理食塩液 250mL + パクリタキセル mg 0.22μ以下のフィルタ一体型輸液セットを使用する 1時間かけて点滴静注		0.0ml
	1時45分	④ 生理食塩液 100mL + ベバシズマブ mg 90分投与 (初回は90分、2回目以降は60分・30分に変更可)		0.0 mL
	3時15分	⑤ 生理食塩液 50mL (フラッシュ)		
day8	1月8日 (金)	内服 レスタミンコーワ (10mg) 5 T 点滴直前に内服		
	0時00分	① 生理食塩液 50mL + ガスター 1A + デキサート 6.6mg ※デキサート初回は6.6mg、2回目以降は3.3mg (1.65mg×2A) 可、半量ずつ1.65mg×0.5Aまで減量可 15分かけて点滴静注		
	0時15分	② 生理食塩液 100mL 30分かけて点滴静注		
	0時45分	③ 生理食塩液 250mL + パクリタキセル mg 0.22μ以下のフィルタ一体型輸液セットを使用する 1時間かけて点滴静注		0.0ml
	1時45分	④ 生理食塩液 50mL (フラッシュ)		
day15	1月15日	は 1月1日 と同様に行う 1月22日 は休薬		
		※ ①と③の間は少なくとも30分間隔をあけて投与		

REFERENCE

Kathy Miller, M.D., Molin Wang, Ph.D., Julie Gralow, et al: N Engl J Med 2007;357:2666-76
 Paclitaxel plus Bevacizumab versus Paclitaxel Alone for Metastatic Breast Cancer
 2011年11月度化学療法プロトコール委員会承認 : 2011年11月14日